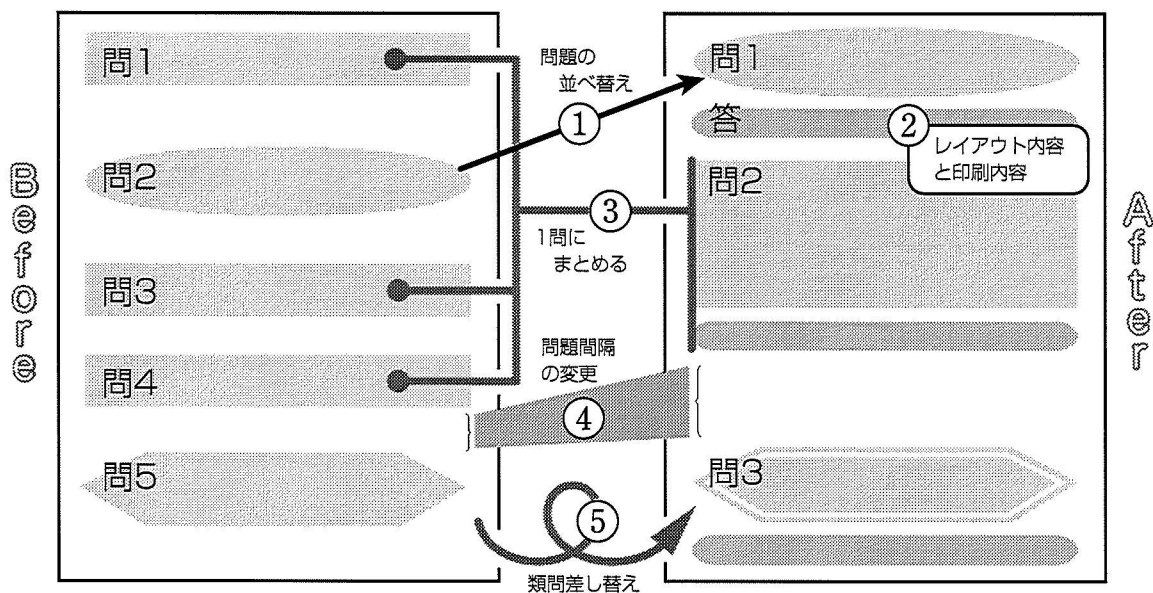


Studyaid_{DB} information vol.33

Studyaid_{DB} プリント Before ⇄ After ～レイアウト機能のまとめ～

Studyaid D.B. はプリント教材作成に特化したソフトです。
一般的なワープロソフトでプリントを作成している方も多いと思いますが、
プリント教材独特の部分で苦勞する作業は多々あるはずですが。
そこで今回は、1問を単位として扱う Studyaid D.B. のよさを味わっていた
だくために、便利なレイアウト機能をまとめてご紹介したいと思います。
(Ver.12.0以降のシステムを前提にしています)

早速、下図①～⑤の機能を、具体的な操作とともに見ていきましょう。今まで使っていなかった
ものがあれば、ぜひお試しください。プリントの作成時間が変わるはずですよ。



※ レイアウトの変更には、「レイアウト編集簡単モード」がおすすめです。
以下、レイアウト編集簡単モードを前提として、操作・説明します。

★ レイアウト編集簡単モード
[表示] → [各種設定]
→ [レイアウト・保存] タブ

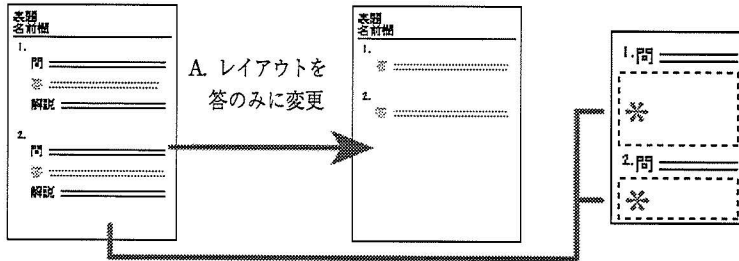
① 問題の並べ替え (順序移動)

1問を単位として扱うので、問題の並べ替えが非常に簡単です。
並べ替えると、問題番号も自動的に変わります。問題番号は、1問ご
とに付け外しをしたり、開始番号を指定して振り直すこともできます。

★ 問題番号の付け外し、振り直し
問題選択 → 右クリック
→ [問題プロパティ]

② レイアウト内容と印刷内容

1問単位で問題・答・解説の情報がついているから、プリント1枚を作成するだけで、「答のみ」や「問題+答」など様々なパターンのレイアウト・印刷ができます。



B. 答と解説を空白にして印刷する（解答記入スペースとして利用できます）

③ 1問にまとめる

複数の問題をさっとまとめることができます。まとめた問題を順に左クリックで選んでいき、最後に右クリック → [1問にまとめる] とするだけです。（複数の問題を選ぶと、紫色で表示されます）
小問集合問題を作成するとき便利です。
まとめた後、内容編集で問題の手直しも行えます。

◆ 豆知識 ◆

Studyaid D.B. はピンク色で入力された文章・図形すべてを答だと認識しています。自作するときも答はピンク色で入力しましょう。

A. レイアウト内容は [スタイル] で変更

B. 印刷パターンは印刷時に選択

一度まとめた問題を元の別々の問題に戻すことはできません。（UNDO でやり直すことはできます）

④ 問題間隔の変更

すべての問題間隔を、一度に変更することができます。
問題ごとの間隔変更や、改ページ（改段）による調整も可能です。

★ 全体の問題間隔変更

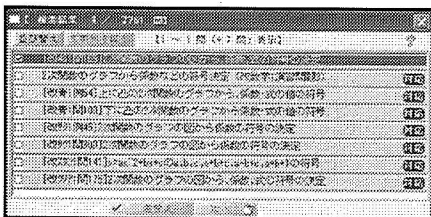
[スタイル] → [スタイル設定]
→ [問題間隔ほか] タブ

★ 問題ごとの間隔変更

問題選択 → Space キー または
BackSpace キー

⑤ 類問差し替え（類問検索）

1問単位でついている問題情報を使って、簡単に類問に差し替えることができます。このとき、対応表検索をあわせて使えば、よりピンポイントな類問を簡単に探し当てることができます。



類問検索で「対応表検索」を使用した場合

右に **対応** とある7問が、いちばん上の問題と対応関係にある問題です。

★ 類問差し替え

問題選択 → 右クリック
→ [類問検索]
(類問の追加も可能です)

対応表検索は、改訂版の教科書、参考書、問題集データベースが対象になります。詳細は弊社ホームページ「ソフトの広場」をご覧ください。

<http://www.chart.co.jp>

今回ご紹介したレイアウト機能は、データベース問題を利用する場合はもちろん、問題を自作する場合にも、存分に活用できます。ユーザー問題を、大問ごとに分けて作成するのがポイントです。

Studyaid D.B. は 特許を取得しています！

発明の名称：プリント教材作成装置

特許番号：日本国特許 第 4059995 号

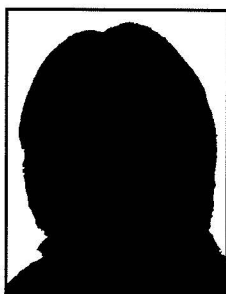
(2007年12月28日取得)

インタビュー形式でお伝えする

Studyaid D.B. 私の“イチ押し”

このコーナーでは、Studyaid D.B. にかかわりのある数研出版社員の生の声をお届けします。記念すべき第1回は、Studyaid D.B. のシステム開発を担当する開発部の社員が登場します。基本的な機能から実践的な活用法まで、役立つ情報を広く紹介していく予定ですので、日々のプリント作成にぜひお役立てください。

第1回 開発部 Oさんに聞く！



開発部 Oさん

Q. OさんはどのようにStudyaid D.B.にかかわっているのですか？

A. Studyaid D.B.のシステムについて、企画から開発までを行っています。

Q. では、Oさんの“イチ押し”を教えてください。

A. 「問題使用履歴」ですね。[検索結果一覧]の画面に表示されている



が「問題使用履歴」のマークです。一度でも保存や印刷をしたことのある問題に表示されるようになっています。

Q. 「問題使用履歴」をどのように使えば便利なのでしょうか？

A. 「ランダム選択」と併せて使ってみてください。「ランダム選択」のときに「過去に印刷／Print保存した問題は除く」のところにチェックをつけておけば、使用したことのない問題だけを選択することができます。

また、履歴は、使い続けるとどんどん溜まっていきますが、消去することもできるようになっています。（メニューバーの[表示] → [印刷／Print保存の履歴情報を消去]）

この「履歴消去」をうまく使えば、「去年の生徒に使った問題は選ばれてもいいんだけど」（1年以上前の履歴を消去）とか「昨日作ったプリントは結局使わなかったから、選んだ問題はまた別のプリントに使おう」（昨日の履歴だけを消去）という活用法が考えられます。

Q. 最後に、OさんにとってStudyaid D.B.とは何ですか？

A. 「手はかかるけど可愛いこども」ですね。

次回は編集部の社員が登場します。ご期待ください。